



360 目で見る
私の履歴書

衆議院議員・厚生労働大臣政務官

森岡正宏

◀秘書駆け出しの頃



▶奥野誠亮法務大臣とともに、大臣秘書官として靖國神社に参拜（S56年8月15日）



◀奥野代議士のお供をしてソビエト、東欧を視察。モスクワ大学前で（H2年9月）



◀尊敬する故小淵総理と。わざわざ奈良県に足を運び、落選して浪人中のところ激励に



▲初当選後の特別国会の召集日、初登院し当選証書を手感に感激をかみしめる（H12年7月4日）



◀ 秘書駆け出しの頃



▶奥野誠亮法務大臣とともに、大臣秘書官として靖國神社に参拝（S 56年8月15日）



◀ 奥野代議士のお供をしてソビエト、東欧を視察。モスクワ大学前で（H2年9月）



◀ 尊敬する故小渕総理と。わざわざ奈良県に足を運び、落選して浪人中のところ激励に





▲初当選後の特別国会の召集日、初登院し当選証書を手に感激をかみしめる（H12年7月4日）

▼小泉政権発足に伴う自民党人事で、代議士1期ながら副幹事長に就任（H13年5月）





▲かねてより親交のある鎌倉の臨済宗円覚寺の管長・足立大進老師を総理官邸に案内。老師が揮毫の扁額を小泉総理に贈呈（H13年5月）

▲小渕優子代議士らと「小渕記念・日本ラオス人材育成センター」開所式に臨む（H13年5月）。青年海外協力隊員たちへの激励も兼ねアジアやアフリカへの訪問を重ねている



大いなる和の国、日本。その
発祥の地とされる畿内大和、奈
良を故里とする森岡正宏（もり
おか・まさひろ）衆議院議員の
愛国心、郷土愛は並々ならぬも
のがある。政治信条として揺る
ぎないバックボーンだ。

常に祖国はどうあるべきかを
念頭に、是々非々を貫く言動は
明快かつ痛快である。齒に衣着
せぬ直言をもって知られ、信念
のおもむくまま王道を歩み続け
ている。国益、国民のためなら
一歩も退かない気概こそ真骨頂
である。

昭和十八年一月二十九日、奈
良市に生まれる。父は長らく教
職にあり、晩年は都祁村村議、
同森林組合長などを務めた人望
家だった。森岡議員が偏向した
戦後教育の是正、正しい教育の
在り方に情熱を注いでいるのも
頷ける。

村立の小学校を卒業して、奈
良市立三笠中学へ進む。実家か
ら遠く市内の親戚宅に下宿して
の通学である。三年間が過ぎ県
立奈良高校へ。理系コースを選
択したのは医学を志望していた
からだ。これが挫折。“浪人
生活”を余儀なくされる。

三十七年四月、同志社大学経
済学部に入学。上級生の誘いで

▼小泉政権発足に伴う自民党人事で、代議士1期ながら副幹事長に就任（H13年5月）



01年 5月24日

▲かねてより親交のある鎌倉の臨済宗円覚寺の管長・足立大進老師を総理官邸に案内。老師が揮毫の扁額を小泉総理に贈呈（H13年5月）



01年 5月 4日

▲小淵優子代議士らと「小淵記念・日本ラオス人材育成センター」開所式に臨む（H13年5月）。青年海外協力隊員たちへの激励も兼ねアジアやアフリカへの訪問を重ねている

大いなる和の国、日本。その発祥の地とされる畿内大和、奈良を故里とする森岡正宏（もりおか・まさひろ）衆議院議員の愛国心、郷土愛は並々ならぬものがある。政治信条として揺るぎないバックボーンだ。常に祖国はどうあるべきかを念頭に、是々非々を貫く言動は明快かつ痛快である。齒に衣着せぬ直言をもって知られ、信念のおもむくまま王道を歩み続けている。国益、国民のためなら一歩も退かない気概こそ真骨頂である。

昭和十八年一月二十九日、奈良市に生まれる。父は長らく教職にあり、晩年は都祁村村議、同森林組合長などを務めた人望家だった。森岡議員が偏向した戦後教育の是正、正しい教育の在り方に情熱を注いでいるのも頷ける。

村立の小学校を卒業して、奈良市立三笠中学へ進む。実家から遠く市内の親戚宅に下宿しての通学である。三年間が過ぎ県立奈良高校へ。理系コースを選択したのは医学を志望していたからだだが、これが挫折。浪人生活を余儀なくされる。

三十七年四月、同志社大学経済学部に入學。上級生の誘いで



▲衆院予算委員会にて自民党を代表して、
加藤紘一元自民党幹事長の参考人質疑に
立つ（H14年4月）

▼自民党代表訪中団に副幹事長として加わり、
温家宝副総理(現総理)を表敬訪問(H14年)





▶第43回衆院選では、コストリカ方式で比例代表・近畿ブロックで再選を果たす（H15年11月9日）

▼街頭演説は議員活動の原点。代議士になってからも週末に帰郷し、必ず実行



▶ 1期目は43回、2期目も厚生労働大臣政務官
に就くまで21回、是々非々の立場から質問に
立つ



▼自民党代表訪中団に副幹事長として加わり、
温家宝副総理（現総理）を表敬訪問（H14年）



▲衆院予算委員会にて自民党を代表して、
加藤紘一元自民党幹事長の参考人質疑に
立つ（H14年4月）

▶第43回衆院選では、コストリカ方式で比例代表・
近畿ブロックで再選を果たす（H15年11月9日）



▶1期目は43回、2期目も厚生労働大臣政務官
に就くまで21回、是々非々の立場から質問に
立つ



▼街頭演説は議員活動の原点。代議士になって
からも週末に帰郷し、必ず実行



日本国
竹島



▲▶ 会長を務める国家基本政策
協議会の同僚議員と、竹島
はじめ尖閣諸島、北方4島
返還の写真付き切手の発行
を申請（H16年3月）



◀衆院予算委分科会で、竹島の領有権に関し
日韓の主張を両論併記したに過ぎなかった
外務省のホームページ修正を、川口外務大
臣から取りつける（H16年3月）



良一区より立候補。結果は、善戦するも次点の苦杯をなめた。原因は、選挙制度の変更によって生じた区割りの不利、また自民党の中央、地方の足並みも乱れがちだったことにある。

雌伏四年を経て十二年六月の衆院選で同奈良一区で初当選。十五年十一月選挙では、比例区・近畿ブロックで連続当選を果たしている。すでに一期目の十三年五月、小泉政権発足時に党副幹事長に起用されており、評価の高さがうかがえる。

二期目早々には、衆院法務委員会理事、自民党総務部会副部長、同厚生労働部会副部長に就任。そして十六年九月発足した第二次小泉改造内閣の下で厚生労働大臣政務官に抜擢されている。

今年三月、ロンドンで開かれたG8労働大臣会議には、尾辻秀久厚生相に代わり日本を代表して出席、見事大任を全うしたのである。

一方で、自民、民主両党の有志による「日本の領土を守るため行動する議員連盟」の会長として、目下の懸案事項に取り組む毎日だ。国の明るい未来に向け身命を賭す森岡議員に、いよいよ期待感が高まる。

日本国
竹島



▶会長を務める国家基本政策協議会の同僚議員と、竹島はじめ尖閣諸島、北方4島返還の写真付き切手の発行を申請（H16年3月）



◀衆院予算委分科会で、竹島の領有権に関し日韓の主張を両論併記したに過ぎなかった外務省のホームページ修正を、川口外務大臣から取りつける（H16年3月）

ポート部に入り、厳しい練習に耐えレギュラー選手になっている。しかし、何よりの収穫は人の和を信じる、その強さを知ったことだった。

四十一年三月卒業して、大阪の中堅セネコン・浅沼組に入社し六年半、サラリーマンとして過ごす。終止符を打ったのは、議員秘書への転身である。郷土の奥野誠亮衆院議員の秘書だ。以前から後援会青年部の結成や選挙手伝いなど、目をかけられていた縁もあり、四十八年一月、およそ二十年に及んだ秘書の道へ踏み出したのである。

むろん、自民党の大物・奥野議員のポストに伴なって、法務大臣秘書官、国土庁長官秘書官と肩書は変わっている。かたわら自身も、自民党秘書会長、衆院秘書協議会長と、大物秘書の名をほしいままにしたのだった。やがてその地位に重大な転機が訪れる。

内々の打診は平成五年夏。当選を決めたばかりの奥野議員が次回選挙への出馬を要請。突然の話に迷ったが、その後も強く決断を迫られ、遂に「表舞台」への登場を決意する。

かくて平成八年十月に行われた衆院選に自民党公認を得て奈

◀ 第二次小泉改造内閣で厚生労働大臣政務官
に就任（H16年9月）



▼社会保険庁の改革は急務だが、毎日の業務がおろそかにならないよう職員を激励



▼東京都芝浦食肉検査所のBSE
スクリーニング検査を視察





▲自民党欧州環境税視察団の一員として、
太陽光発電を取り入れたベルリン中央駅
建設現場を視察（H16年9月）

▼「日本の領土を守るため行動する議員連盟」の会長として、中川経済産業大臣に「わが国の主権と海洋資源を守るよう」申し入れ（H16年11月）





▲「子供は国の宝」。幼保一元化問題の参考に
都内の幼保総合施設を視察

▼社会保険庁の改革は急務だが、毎日の業務がおろそかにならないよう職員を激励



◀第二次小泉改造内閣で厚生労働大臣政務官に就任（H16年9月）



▼東京都芝浦食肉検査所のBSEスクリーニング検査を視察



▲自民党欧州環境税視察団の一員として、太陽光発電を取り入れたベルリン中央駅建設現場を視察（H16年9月）

▼「日本の領土を守るため行動する議員連盟」の会長として、中川経済産業大臣に「わが国の主権と海洋資源を守るよう」申し入れ（H16年11月）



▲「子供は国の宝」。幼保一元化問題の参考に都内の幼保総合施設を視察



◀「観光立県・奈良」を願い、奈良大和路キャンペーンを応援。東京駅八重洲中央口のイベント広場にて



▲政経文化画人展で奨励賞
受賞の「興福寺南円堂」
(H13年8月)
◀油絵制作が趣味。毎年
8月には無心でカンバ
スに向かう



ボート部に入り、厳しい練習に耐えレギュラー選手になっている。しかし、何よりの収穫は人の和を信じる、その強さを知ったことだった。

四十一年三月卒業して、大阪の中堅ゼネコン・浅沼組に入社し六年半、サラリーマンとして過ごす。終止符を打ったのは、議員秘書への転身である。郷土の奥野誠亮衆院議員の秘書だ。

以前から後援会青年部の結成や選挙手伝いなど、目をかけられていた縁もあり、四十八年一月、およそ二十年に及んだ秘書の道へ踏み出したのである。

むろん、自民党の大物・奥野議員のポストに伴なって、法務大臣秘書官、国土庁長官秘書官と肩書は変わっている。かたわら自身も、自民党秘書会長、衆院秘書協議会長と、大物秘書の名をほしいままにしたのだった。やがてその地位に重大な転機が訪れる。

内々の打診は平成五年夏。当選を決めたばかりの奥野議員が次回選挙への出馬を要請。突然の話に迷ったが、その後も強く決断を迫られ、遂に「表舞台」への登場を決意する。

かくて平成八年十月に行われた衆院選に自民党公認を得て奈



▲「観光立県・奈良」を願い、奈良大和路キャンペーンを応援。東京駅八重洲中央口のイベント広場にて



▲政経文化画人展で奨励賞受賞の「興福寺南円堂」(H13年8月)
油絵制作が趣味。毎年8月には無心でカンバスに向かう

良一区より立候補。結果は、善戦するも次点の苦杯をなめた。原因は、選挙制度の変更によって生じた区割りの不利、また自民党の中央、地方の足並みも乱れがちだったことにある。

離任四年を経て十二年六月の衆院選で同奈良一区で初当選。十五年十一月選挙では、比例区・近畿ブロックで連続当選を果たしている。すでに一期目の十三年五月、小泉政権発足時に党副幹事長に起用されており、評価の高さがうかがえる。

二期目早々には、衆院法務委員会理事、自民党総務部会副部長、同厚生労働部会副部長に就任。そして十六年九月発足した第二次小泉改造内閣の下で厚生労働大臣政務官に抜擢されている。

今年三月、ロンドンで開かれたG8労働大臣会議には、尾辻秀久厚労相に代わり日本を代表して出席、見事大任を全うしたのである。

一方で、自民、民主両党の有志による「日本の領土を守るため行動する議員連盟」の会長として、目下の懸案事項に取り組み毎日だ。国の明るい未来に向け身命を賭す森岡議員に、いよいよ期待感が高まる。



▲「初当選から5年——真心・感謝・無私」を掲げた
◀ニューイヤーパーティー。洋子夫人とともに後援会
の方々と談笑（H17年1月）





▲ロンドンで開催されたG8労働大臣会議に
尾辻厚生労働大臣に代わり出席。日本の雇
用政策を説明（H17年3月11日）





▲「初当選から5年—真心・感謝・無私」を掲げた
◀ニューイヤーパーティー。洋子夫人とともに後援会
の方々と談笑（H17年1月）



▲▲ロンドンで開催されたG8労働大臣会議に
尾辻厚生労働大臣に代わり出席。日本の雇
用政策を説明（H17年3月11日）